

平成 27 年度事業報告書

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

一般財団法人機能水研究振興財団

理事長 堀田 国元



平成 28 年 6 月

平成 27 年度事業活動の概要

平成 27 年度は、堀田国元代表理事(理事長)、小宮山寛機常務理事(事業担当)と中山武久常務理事(財務担当)、4 名の理事(芝燐彦、藤原功一、森澤紳勝、矢野一好)、および 2 名の監事(八木澤守正、宮下奈穂)を役員として事業運営を行った。事業活動に関しては、公益目的支出計画の達成を念頭に、事業計画・予算に基づいて事業活動を行った。以下にその概要を示す。

1. 機能水及び機能水生成器に関する研究助成事業の推進

研究公募を行い、審査を経て以下のアルカリイオン水研究に研究助成した。

1) アルカリイオン水の作用機序に関する研究

① 内藤裕二(京都府立医科大学 准教授)

腸内マイクロバイーム解析による飲用アルカリ性電解水の機能性評価

② 高橋 玲(同志社女子大 教授)

アルカリイオン水による骨組織リモデリング調節機構の解析

③ 佐藤 勉(日本歯科大学東京短期大学)

アルカリイオン水のエナメル質の再石灰化促進作用とバイオフィーム形成阻害作用に関する研究

2) アルカリイオン水の生理作用に関する研究

① 小山勝弘(山梨大学大学院総合研究部・教育人間科学域・人間科学系 教授)

運動に伴う疲労や酸化ストレスに対するアルカリイオン水の生理作用: 「pH9.5 アルカリイオン水中の溶存水素分子量の相違は運動に伴う疲労や酸化ストレスの程度に影響を及ぼすか？」

② 早川享志(岐阜大学応用生物科学部 教授)

飲用水(アルカリイオン水)中の水素の抗酸化効果に関わる食事要因の解明

2. 機能水及び機能水生成器に関連する調査研究事業の推進

調査研究推進のために、以下の各種委員会において検討を行うとともに、種々の研究委託等を実施した。

1) 内視鏡洗浄消毒器委員会: テーマ: 「機能水による消化器内視鏡洗浄消毒器の使用手引き第 2 版」の作成

2) 次亜塩素酸水標準化委員会: テーマ: 使用マニュアル作成、装置の JIS 化、第 9 版食品添加物公定書解説書

3) 口腔領域次亜塩素酸水評価委員会: テーマ: 歯科領域における微酸性電解水使用指針の作成

4) 飲用アルカリ性電解水評価委員会: テーマ: アルカリイオン水の作用機序その他の研究

5) 機能水技術認定委員会: テーマ: 機能水技術認定制度(仮称)の確立

<研究委託>

1) 機能性ダイヤモンド電極を用いた機能水センサーに関する研究: 第 14 回機能水学会学術大会第 1 報
慶應義塾大学理工学部化学科 米長泰明 教授

2) 口蹄疫モデルウイルスに対する電解水の効果試験: 機能水研究 11 巻 1 号およびホームページに掲載
酪農学園大学獣医学群獣医学類獣医ウイルス学ユニット 桐澤力雄 教授

3) アルカリイオン水の食材成分抽出効果に関する研究
実践女子大学生活科学部 数野千恵子 教授

4) 次亜塩素酸水による食材洗浄殺菌効果に関する研究
近畿大学生物理工学部 泉 秀実 教授

5) ベトナム保健省機関(NICVB)における電解水の評価試験法の確立・指導: 2016 年 3 月実施
NPO 法人バイオメディカルサイエンス研究会

3. 機能水及び生成器等に関する成果の普及・促進事業の推進

1) 学会等協力支援:

- ① ウォーター研究会: ・セミナー(第64回・66回)共催、2015年6月、2016年3月、東京
- ② 関西ウォーター研究会: ・第16回講演会共催、2015年7月、豊中市
- ③ 日本機能水学会: ・第14回学術大会共催: 2015年10月23~25日、浜松
・「機能水研究」編集: 第11巻
- ④ 日本口腔機能水学会: ・第17回学術大会後援: 2016年3月、大阪市
- ⑤ 機能水研究振興財団: ・研修会3回(6月東京、10月浜松、3月東京)、国際交流(CKJ:10月)

2) 展示会

- ① 5月 ifia JAPAN 2014(東京ビッグサイト)、食の安全・科学ゾーン: 展示および講演
講演: 「次亜塩素酸水とアルカリイオン水の新展開」堀田国元
- ② 9月 フードセーフティジャパン(FSJ)2014(東京ビッグサイト) 展示および講演
講演: 「食の安全確保における機能水の役割と展望」堀田国元
- ③ 10月 「水のふしぎ展」日本機能水学会第14回学術大会、2015年10月23~25日、浜松

3) 出版物

- ① ニュースレター: 6回(No.65~70)
- ② 冊子刊行: 機能水による消化器内視鏡洗浄消毒器の使用手引き第2版
- ③ 各種既出版物の頒布

以上